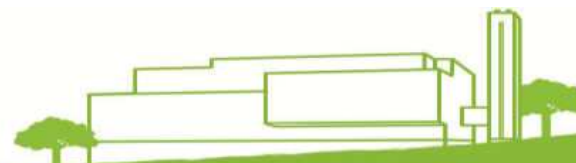


佐賀市一般廃棄物処理基本計画について

環境部 循環型社会推進課

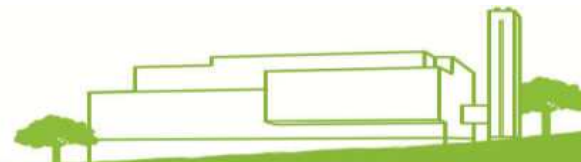


「一般廃棄物処理基本計画」とは

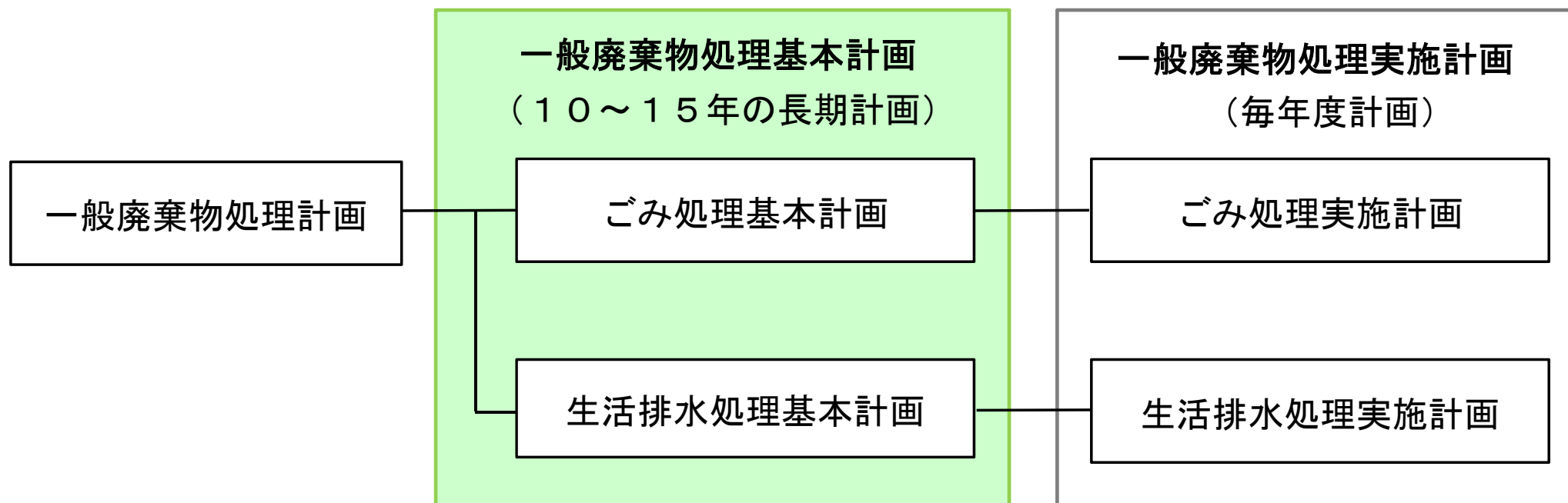
- ・ 市が長期的・総合的視点に立って計画的なごみ処理の推進を図るための基本方針となるもの
- ・ 佐賀市の現行計画は、平成26年度に策定
計画期間は10年間（平成27年度～令和6年度）で、令和元年度に改定している。

○廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条（抜粋）

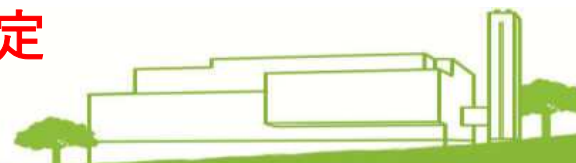
市町村は、当該市町村の区域内の一般廃棄物の処理に関する計画（一般廃棄物処理計画）を定めなければならない。



一般廃棄物処理計画の構成



令和6年度に次期計画を策定



一般廃棄物処理計画で定める事項

- ① 一般廃棄物の発生量及び処理量の見込み
- ② 一般廃棄物の排出の抑制のための方策に関する事項
- ③ 分別して収集するものとした一般廃棄物の種類及び分別の区分
- ④ 一般廃棄物の適正な処理及びこれを実施する者に関する基本的事項
- ⑤ 一般廃棄物の処理施設の整備に関する事項



【参考】現行計画で掲げる取組（ごみ処理）

基本理念 市民・事業者・行政の3者協働によるごみゼロをめざした循環型社会の実現

基本方針

- I ごみの発生抑制・再使用・再生（リデュース・リユース・リサイクル＝3R）の推進
- II 地域循環システムの確立
- III 適正処理の推進

基本施策

- ① 3Rの普及啓発と環境教育の推進
- ② 家庭系ごみの3R推進
- ③ 事業系ごみの3R推進
- ④ バイオマスの有効利用の推進
- ⑤ 廃棄物エネルギーの利活用
- ⑥ ごみ処理にかかる費用負担の透明化・適正化
- ⑦ 適正な収集運搬・処理・処分の推進

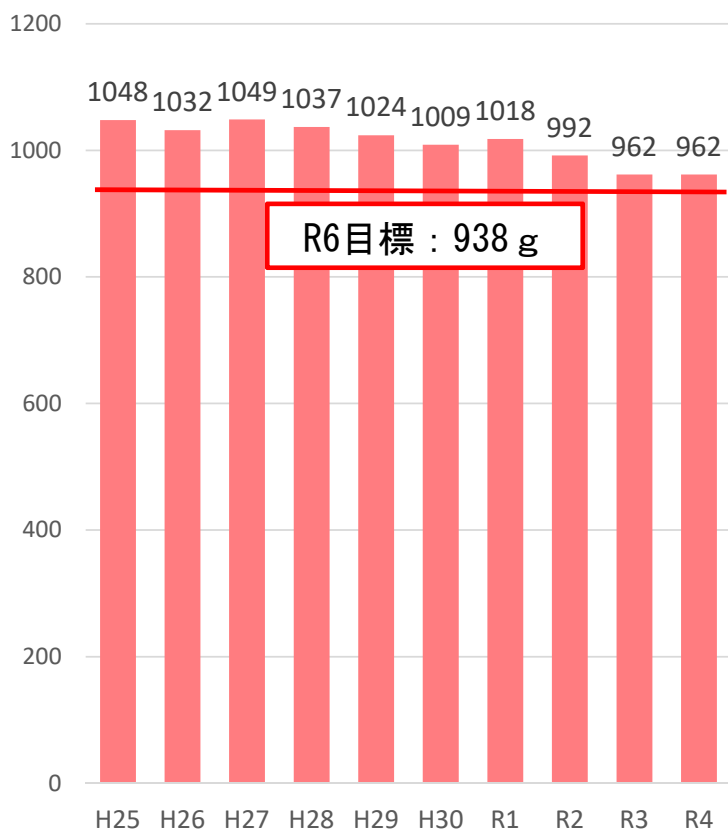
数値目標 ◆ 1人1日当たりごみ排出量 1,048g ⇒ 938g

(H25⇒R6) ◆ リサイクル率 17.4% ⇒ 20.5% ◆ 最終処分量 4,356t ⇒ 2,980t/年

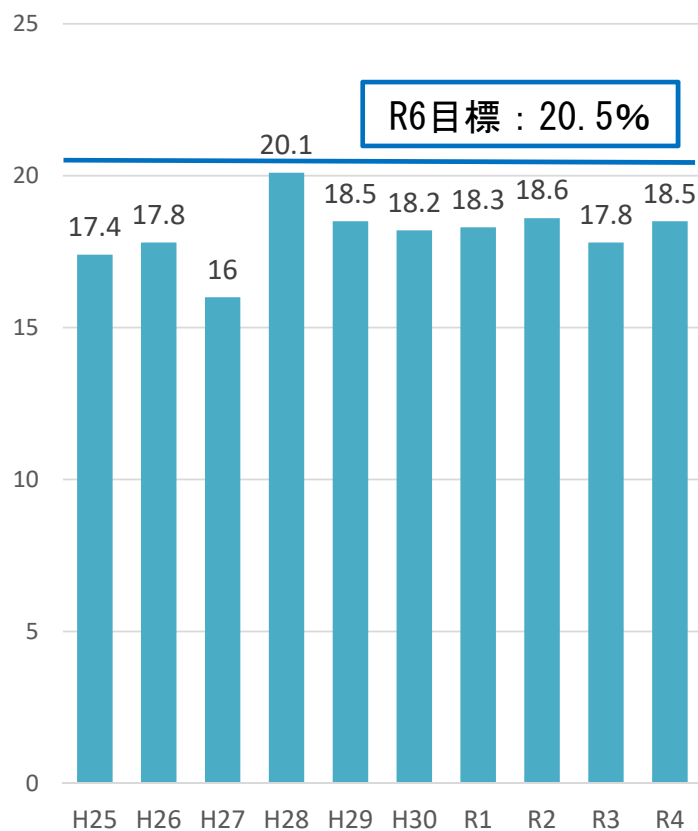
【参考】実績値

(出典：一般廃棄物処理事業実態調査結果)

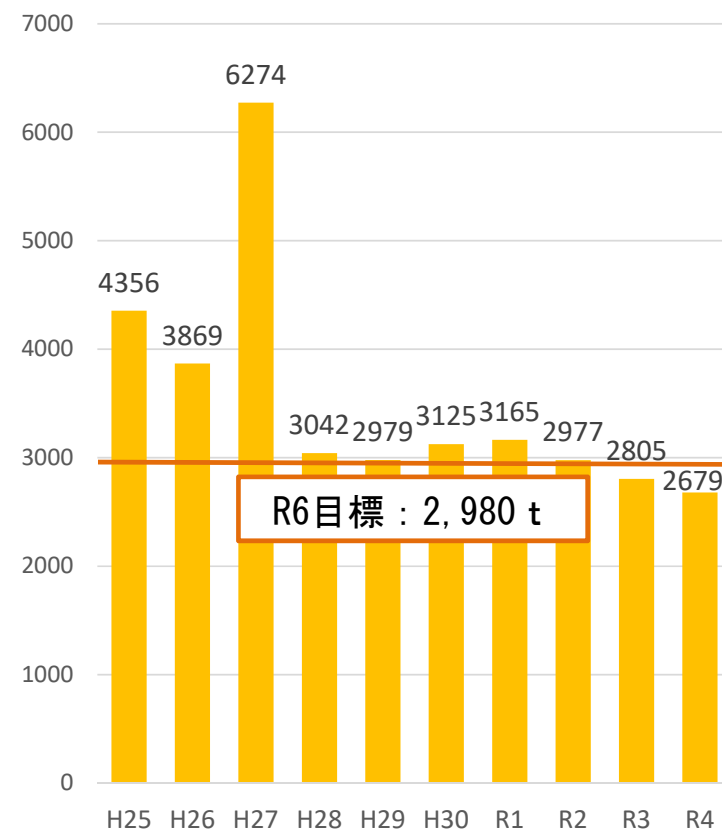
1人1日当たりごみ排出量 (g)



リサイクル率 (%)



最終処分量 (t)



次期計画策定のポイント

計画期間

令和7年度から令和16年度までの10年間

- 上位計画の佐賀市総合計画や、佐賀市環境基本計画などの関連計画との整合

策定の視点

「捨てる」から「活用する」へ

- 食品ロスの削減やプラスチックの分別・リサイクルなど3Rの更なる推進
- 人口減少、少子高齢化の進展への対応
- 3R+Renewableを基盤とした資源循環経済システム（サーキュラエコノミー）への転換による「ゼロカーボンさがし」実現への貢献
- 新たな付加価値をもったごみ処理施設整備の検討